

[抄録様式]

財団法人 8020 推進財団 平成 21 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名：	禁煙支援歯科医療従事者養成講習
2. 申請者名：	北海道歯科医師会
3. 実施組織：	北海道歯科医師会・北海道・北海道歯科衛生士会
4. 事業の概要：	<p>喫煙と歯周病との因果関係について EBM が明確になっているが、各歯科医院で禁煙支援が行われているかという点、まだ十分に満足できる状況とは言い難い。そこで、禁煙支援指導ができる歯科医療従事者を養成するための講習会（ワークショップ形式）を開催し、禁煙支援の資料及び行動変容、行動科学、ヘルスプロモーションに関する提供、待合室のリーフレットの作成をする。</p>
5. 事業内容：	<p>今年度（平成 21 年度）は第一弾として、禁煙支援の第一人者である大阪府立健康科学センター健康生活推進部長中村正和先生をはじめ以下講師を招聘し、講義と実演、ロールプレイを取り入れた参加型の養成講習会を 2 日間行った。また、医院待合室や住民へのアピールとして利用できるリーフレットを作成した。</p> <p>テーマと講師      喫煙者にやさしい気持ちで接する禁煙治療の秘訣</p> <p style="text-align: center;">大阪府立健康科学センター 健康生活推進部長 中村正和</p> <p style="text-align: center;">禁煙で高まる歯周病とインプラントの治療成績</p> <p style="text-align: center;">北海道大学大学院歯学研究科口腔健康科学講座准教授 菅谷 勉</p> <p style="text-align: center;">歯科診療所の禁煙支援アプローチ</p> <p style="text-align: center;">大阪市東成区開業（文元歯科医院）</p> <p style="text-align: center;">NPO 法人関西ウェルビーイングクラブ（KWC） 監事 文元基宝</p>
6. 実施後の評価：	<p>禁煙支援への行動変容、行動科学、ヘルスプロモーションの概念が理解でき、また歯科からの禁煙支援の推進は効果的なことが分かった。</p> <p>歯科では喫煙者を見分けやすく男女あらゆる年齢層の人を対象とすることができ、しかもたびたび受診するため繰り返しの禁煙支援が可能である。また喫煙は歯周病治療の予後に大きく影響し、私たち歯科医療従事者にとっても必ず指導すべき保健行動の一つで、口臭・着色歯などを患者が自分で観察し、定期健診への動機を育てる格好の機会にもなりうる。実際、歯科における禁煙の介入効果は、他の禁煙支援に比較して 2～3 倍成功率が高いと報告されている。</p> <p>禁煙支援には、歯科臨床と共通のコミュニケーション・保健指導の理論・技法が用いられ、患者との対応を見直す良い機会になると思われることから、次のステップに繋がるよう今後も継続実施していく事が重要と考える。</p> <p>実施成果</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・歯周病治療のプロセスの中で喫煙の有無と喫煙ステージを確認の仕方が分かった。</li><li>・無関心期の患者さんの気持ちを受けとめ、今後の禁煙に役立つ情報を伝え方が理解できた。</li><li>・関心期の患者さんが禁煙に積極的になれない理由を聞き出し、適切なアドバイスの方法が分かった。</li><li>・準備期の患者さんが禁煙に踏み切り、それが続くような支援の仕方が理解できた。</li><li>・歯周病とインプラント治療の予後と喫煙の関連について、患者への説明の仕方がわかった。</li><li>・自分の歯科医院において、禁煙に関心のある患者さんへの禁煙支援が分かった。</li></ul>